

新たな公共交通導入 各編の状況

	①コミュニティバス案	②乗合タクシー案	③引き続き検討案
運行形態	定時定路線運行	デマンド(予約制)運行	—
長所	<ul style="list-style-type: none"> ○定時定路線で分かりやすい ○予約が不要で利用しやすい ○料金がタクシーよりも安い ○タクシーよりも多い人数が利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ○バス停の設置が不要 ○需要に応じて運行するので効率的 ○需要が散在している地域に対応しやすい ○導入地域において公平な乗車機会が提供できる 	<ul style="list-style-type: none"> ○再度実証調査などを実施し、さらにデータを 得ることで、より市民ニーズを反映した公共交通の 導入を検討できる。
短所	<ul style="list-style-type: none"> ○バス停圏から外れると不便 ○利用者が無くても運行するので非効率 ○バス停の設置が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○予約が必要 ○予約状況によって運行時間が変動する ○料金がバスよりも高い ○バスよりも少ない人数しか利用できない 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通空白地域の市民が利用できる公共交通が、 すぐに確保できない。
現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○実証調査運行結果では、利用者は乗合タクシーよりも多いが、1便平均では1人を切っている状況である。 ※実証調査運行結果(2月調査の人数は2/23現在) <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 9月調査:150人、2月調査:341人 ・1便平均の利用者 9月調査:0.38人、2月調査:0.96人 ・利用されていない便の割合 9月調査:72.7%、2月調査:44.9% ○運行経路の設定 ○路線、運賃、運行時間帯など交通事業者との調整が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○実証調査運行結果では、利用者は少なく、計画運行回数に対する実運行回数も10%を切っている状況である。 ※実証調査運行結果(2月調査の人数は2/23現在) <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 9月調査:26人、2月調査:20人 ・1便平均の利用者 9月調査:1.04人、2月調査:1.11人 ・計画運行回数に対する実運行回数 9月調査:6.4%、2月調査:3.8% ○予約の抵抗感がある(市民意見) ○エリア、運賃、運行時間帯など交通事業者との調整が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的地まで自動車を自分で運転している市民の割合が高い。 (H24市民アンケート調査)(住民ニーズ把握調査) ○今は必要ないが、今後は必要になる時が来る。 (市民意見) ○短期間の実証調査運行では何も分からないので、何年か続けた方が良い。(老人クラブ意見)
今後の検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ○導入を決める判断基準について ○新たな公共交通の導入方針(コミュニティバス・乗合タクシー・引き続き検討) 		